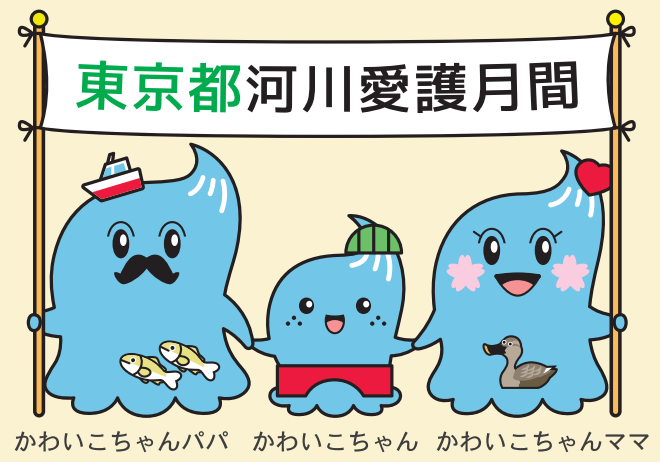


河川愛護月間行事の紹介

身近な自然環境である河川への市民の関心の高まりに応えるため、良好な河川環境の保全・再生などの推進や、河川愛護意識の醸成を目的とし、毎年7月に国土交通省及び東京都をはじめ、各自治体が様々な行事に取り組んでいます。

令和4年度は「東京の川を考えるシンポジウム」、「川のフォトコンテスト」を開催し、東京の河川事業や川と自然との関わりなど、川に関する様々な情報を紹介しています。



東京の川を考えるシンポジウム2022

東京都では、身近な東京の川について知識を深めていただくため、『気候変動が河川にもたらす影響』をテーマにシンポジウムを開催しました。

開催日：2022年7月28日(木)

開催場所：都民ホール・オンライン同時配信



アーカイブ動画は以下URLの「公式動画」メニューからご視聴いただけます。

<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jigyoku/river/keihatsu/index.html>

スマートフォンの方はコチラ



川のフォトコンテスト

「東京の川」への親しみや愛着を表現した写真を募集し、優秀作品として4作品を表彰しました。

＜募集期間＞令和4年3月17日(木)～6月10日(金)

最優秀賞

アジサイの季節

(旧中川)

小池 基夫様



優秀賞

夜明けの詩

(多摩川)

永瀬 篤信様



特別賞

夕照の隅田川

(隅田川)

鈴木 信行様

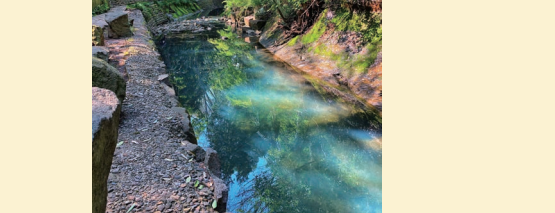


奨励賞

水と緑の静けさに包まれて

(谷沢川)

橋口 真穂様



東京の河川

東京の河川はその地勢から、概ね西から東にながれ、東京湾に注いでいます。そのうち国土交通大臣が指定する一級河川としての多摩川水系、荒川水系、利根川水系、鶴見川水系の92河川、都知事が指定する二級河川としての15河川があり、合計すると、都内の河川は107河川、約857kmになります。

このうち、荒川や江戸川など、国土交通省が管理する河川を除く105河川、約710kmを東京都が管理しています。

また、東京都管理河川のうち、区部の46河川については、「特別区における東京都の事務処理の特例に関する条例」により区が管理を行っています。このほか、区市町村が指定・管理する準用河川が20河川、約33kmあります。



東京都の主な河川事業

■中小河川の洪水対策

台風や集中豪雨による水害から都民の命と暮らしを守るため、川幅を広げるなどの河道整備を基本とし早期の安全性向上を図ってきました。

さらに、近年増加する集中豪雨などを踏まえ、平成24年に目標整備水準を年超過確率1/20※に引き上げ、これまでの河道整備に加え、新たな調節池や分水路の整備に取り組んでいます。

●河道整備

区部を流れる石神井川、善福寺川、神田川、多摩地域を流れる空堀川、谷地川、奈良橋川など都内46河川、324kmを対象に川幅を広げたり、河床を掘り下げるなどの河道整備を進めています。



●調節池・分水路の整備

河道整備に長期間を要する箇所では、洪水の一部を貯留する調節池や、別のルートに分けて流す分水路も整備しています。12河川26カ所の調節池と、5河川18カ所の分水路が完成しています。(令和4年度現在)。



※「年超過確率1/20」とは、毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/20(5%)であることを示しています。年超過確率1/20の規模の雨量は、これまでの実績降雨から推計した値を参考とすると、区部では1時間あたり75mm以上、多摩地域では1時間あたり65mm以上に相当します。

■多摩・島しょ地域の土砂災害対策及び海岸整備

土砂災害対策は、土砂災害警戒区域の指定や住民参加によるハザードマップ作成支援等、住民の防災意識を高めると共に、土石流対策として、避難所の有無等を考慮し、優先度をつけて事業を実施しています。

海岸事業は、高潮や波浪から国土を保全し、住民の命と暮らしを守るため、東京湾及び伊豆小笠原諸島沿岸で海岸保全施設を整備しています。美しい海岸環境や海水浴等の利用にも考慮して取り組んでいます。

●砂防事業

多摩地域や島しょ地域において197渓流を砂防指定地に指定し、土地の掘削や盛土などの制限と併せ、土石流を止める砂防堰堤等の整備を進めています。



●海岸事業

東京湾及び伊豆・小笠原諸島沿岸において、26カ所を海岸保全区域に指定し、護岸や人工リーフなどの海岸保全施設の整備を進めています。



■低地河川の高潮・地震対策

東京の東部には、地盤が海面より低いゼロメートル地帯が広がっており、高潮、洪水、地震による津波などの自然災害に対する危険性が高くなっています。これらの水害を防ぐため、堤防・水門の整備や、大地震に備えた耐震補強などを実施しています。また、テラスの連続化や照明整備など、人々が集い、にぎわいある水辺空間の創出に向けた取組を行っています。

●スーパー堤防の整備

隅田川などの主要な河川では、川沿いの民間開発や公園整備などのまちづくりと一体的に整備を行うスーパー堤防整備事業を進めています。



●隅田川テラスの照明整備

隅田川では、水辺と街の連続性や回遊性を高めるため、照明整備を進めています。橋梁のライトアップなどと連携して東京の水辺景観の向上に取り組んでいます。



■河川環境の整備

近年、河川に対しては、治水機能の向上だけでなく、水辺に親しめる場、生き物を育む場、自然とふれあえる場、美しい景観の創出など、都市に残された水辺空間として、多種多様な期待が寄せられています。河川環境の整備については、親水性の高い緩傾斜護岸や、河川の緑化、生き物が棲みやすい水際など、自然の営みを活かした多自然川づくりなどを推進しています。

●水辺の環境づくり

うるおいのある水辺空間を創出するため、旧河川敷などを活用した多自然川づくりや、河川敷・護岸などの緑化など、地域の特性を活かした川づくりを行っています。



●水質・水量の改善

水質汚濁や平常時水量の減少が問題となっている河川では、堆積汚泥のしゅんせつ等による水質の改善、地下鉄等からの湧水の受入れなどによる水量の確保・水質の改善に努めています。

